

記者発表

「第1回 芳ノ元トンネル施工検討会」の開催について

東九州自動車道（清武～北郷）の芳ノ元トンネルにおいて、地表面のひび割れ及び斜面に複数箇所地すべりが確認されたため、地表面への影響を考慮しトンネル掘削の安全な施工を検討することを目的として、トンネル・地すべり等の学識経験者等からなる検討会「芳ノ元トンネル施工検討会」を設立する。

第1回検討会を、下記のとおり開催しますので、お知らせ致します。

記

1. 第1回検討会議の開催

- ・ 開催日時：平成22年11月2日(火) 13時30分～16時30分
- ・ 会場：国土交通省 宮崎河川国道事務所 本館1階会議室

(宮崎市大工2丁目39番地)

2. 主な議題

- ・ 地すべりの可能性がある箇所の確認
- ・ 想定される地すべり形状の確認
- ・ 追加調査について

※ 検討会議の取材について

- ・ 取材を希望される場合は 事前に問い合わせ先までご連絡下さい。
- ・ 取材・撮影される場合は会議冒頭の「あいさつ」までとさせていただきます。
- ・ 結果については、とりまとめ次第、当事務所ホームページに掲載します。

(<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>)

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

技術副所長 横山

TEL:(代)0985-24-8221

FAX: 0985-24-8258

現場位置と現状

位置図①



位置図②



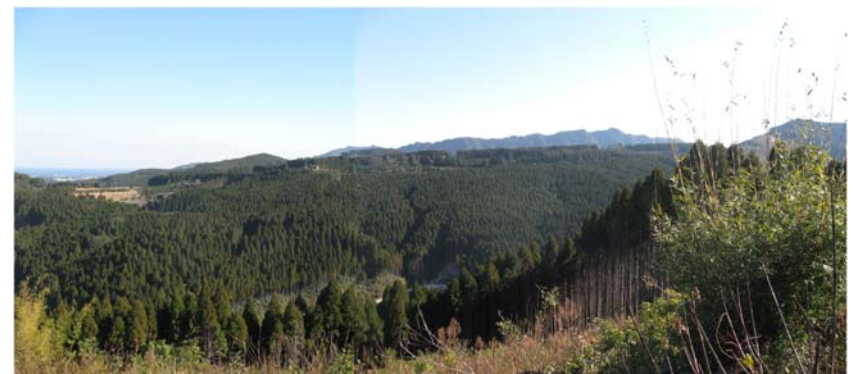
芳ノ元トンネル工事場所全景



トンネル起点側坑口



起点側斜面全景



「委員名簿」

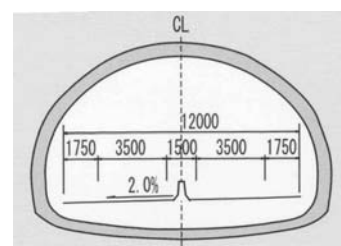
委員長	横田 漠	宮崎大学 国際連携センター 地盤環境保全研究部門 特任教授
委員	瀬崎 満弘	宮崎大学 工学部 准教授
	真下 英人	独立行政法人土木研究所 道路技術研究グループ グループ長
	武士 俊也	独立行政法人土木研究所 地すべりチーム 上席研究員
	藤澤 和範	NEXCO総研 道路研究部 土工研究室 砂防研究担当部長
オブザーバー	渡辺 学	宮崎県 県土整備部 高速道対策局長
	浜崎 和男	宮崎市 建設部長
	野邊 泰弘	日南市 建設部長
事務局	国土交通省九州地方整備局	
	〃	宮崎河川国道事務所

■道路概要

東九州自動車道は、北九州を起点に大分・宮崎を経て鹿児島市に至る延長 436km の高速自動車国道です。このうち清武～日南間については、宮崎市・日南市の 2 市を通過する延長約 28km の区間です。

■工事概要

工 事 名 東九州道（清武～北郷間）芳ノ元トンネル新設工事
 トンネル 延長 L = 1, 898 m
 幅員 W = 12.0 m
 車線数 2 車線
 請負業者 五洋建設(株)
 工 期 H19. 10. 30～H23. 3. 31
 契約金額 42億7, 245万円



標準横断面図

■経緯

年 月	経 緯	備 考
平成20年 4月	芳ノ元トンネル掘進開始	
5月	トンネルの変状に対する補助工法の検討開始 (最大沈下 50cm)	
平成21年 4月	トンネル上の市道とみかん畑において、ひび割れ箇所を確認。(市道 4箇所 延長 1.2m～6.0m、みかん畑 2箇所 延長 0.9m～2.4m)	参考①
5月	●地すべりの可能性のある箇所の抽出 ① 空中写真による地形判読の実施 ② 現地踏査の実施 (地すべり地形を有する箇所：十数箇所)	掘削土からヒ素等の特定有害物質を検出
6月	6月22日 トンネル掘削中止 (①大きな地山荷重に対する支保構造の検討、②砒素を含む掘削土対策の検討、③メタンガス対策の検討により掘削中止)	掘削面からメタンガスを検出
10月		メタンガス対策の確定 (換気設備の変更等)
11月 ～現在	●地すべり面・規模に関する概略調査 (地すべり形状の推定) ① ボーリングによる地質調査 ② 挿入式傾斜計による地中挙動の観測 ③ 地下水調査(地下水位観測)	平成22年2月 掘削土の対策工法確定 (ヒ素等の対策) 3月 掘削土の対策工法着手

ひび割れ状況

